

## みずほマーケット・トピック(2017年8月25日)

## 週末版

## 内容 1. 為替相場の動向

## 2. 来週の注目材料

誠に恐れ入りますが「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

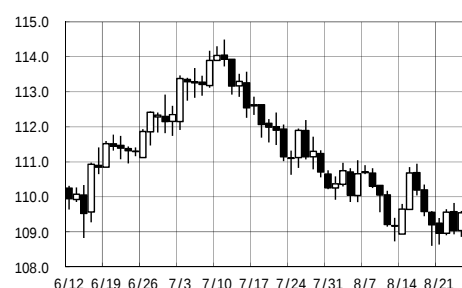
## 1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場はレンジ内での値動きとなった。週初 21 日に 109 円台前半でオープンしたドル/円は、日経平均株価の軟調推移や米韓合同軍事演習が予定される中で地政学リスクが意識されたため、上値重く推移。週後半にジャクソンホール経済シンポジウムを控えてドル/円はじりじりと値を下げ、一時週安値となる 108.64 円をつけた。しかし、前週の安値近辺であるこの水準では相応に買い意欲がみられたことから反発し、22 日には本邦勢による実需フローが散見される中、109 円台前半まで上昇。主要な経済指標の発表がなく、ジャクソンホール会合を控え積極的な取引が手控えられる中、米株式市場は堅調に推移し米金利も上昇するとドル/円は 109 円台半ばまで続伸した。23 日は前日の流れを引き継ぎ一時週高値となる 109.83 円をつけたが、本邦の実需勢からのドル売りに押されて 109 円台前半まで下落。さらにトランプ米大統領による「政府を閉鎖しなければならなくても、(メキシコ国境の)壁は建設する」、「北米自由貿易協定 (NAFTA) を破棄する可能性がある」との発言が伝わるとドル/円は一時 109 円を割れる展開となった。しかし、108 円台では相応に買い意欲も見られる中、24 日は本邦実需勢からのドル買いフローなどを背景に 109 円台前半まで反発。その後は米金利が上昇する動きやユーロ/円がストップを巻き込みながら急上昇したことを受けてドル/円は 109 円台後半まで上伸し、本日も同水準で底堅く推移している。
- 今週のユーロ/ドル相場はレンジ内で推移。週初 21 日に 1.17 台前半でオープンしたユーロ/ドルは、一時週安値となる 1.1731 をつけた。しかし、ドイツ連邦銀行の月報において、同国の今年の経済成長率が従来予想を上回る可能性があることと指摘したことを受けて ECB の利上げ期待が再燃し、週高値となる 1.1828 まで急伸した。22 日に発表された独 8 月 ZEW 景況指数が市場予想を大幅に下回ると、ユーロ/ドルは 1.17 台半ばまで下落。23 日も軟調な値動きが継続したが、ドラギ ECB 総裁の講演で特段サプライズがなかったことで一旦調整から売られていたユーロが買い戻される展開に 1.18 台前半まで急反発した。だが、ジャクソンホール経済シンポジウムを控えて上値追いは限られた。24 日も翌日に予定されるジャクソンホール会合でのドラギ ECB 総裁講演を控えて 1.18 を挟んでの値動きとなり、本日のユーロ/ドルは 1.17 台後半で上値が重い値動きとなっている。

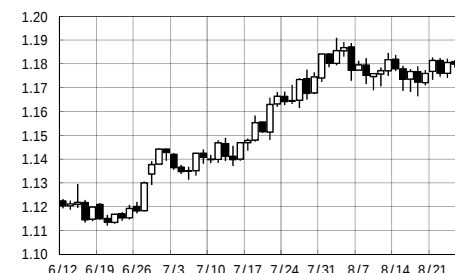
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

|              |          | 前週末       | 今 週       |           |           |           |
|--------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|              |          | 8/18(Fri) | 8/21(Mon) | 8/22(Tue) | 8/23(Wed) | 8/24(Thu) |
| ドル/円         | 東京9:00   | 109.33    | 109.33    | 109.00    | 109.73    | 108.91    |
|              | High     | 109.60    | 109.42    | 109.65    | 109.83    | 109.60    |
|              | Low      | 108.61    | 108.64    | 108.90    | 108.92    | 108.85    |
|              | NY 17:00 | 109.20    | 108.96    | 109.57    | 109.04    | 109.55    |
| ユーロ/ドル       | 東京9:00   | 1.1716    | 1.1757    | 1.1811    | 1.1762    | 1.1815    |
|              | High     | 1.1774    | 1.1828    | 1.1824    | 1.1823    | 1.1818    |
|              | Low      | 1.1708    | 1.1731    | 1.1745    | 1.1741    | 1.1785    |
|              | NY 17:00 | 1.1760    | 1.1815    | 1.1761    | 1.1806    | 1.1800    |
| ユーロ/円        | 東京9:00   | 128.10    | 128.53    | 128.79    | 129.06    | 128.68    |
|              | High     | 128.79    | 128.79    | 129.19    | 129.12    | 129.36    |
|              | Low      | 127.57    | 127.84    | 128.36    | 128.50    | 128.54    |
|              | NY 17:00 | 128.46    | 128.76    | 128.86    | 128.75    | 129.31    |
| 日経平均株価       |          | 19,470.41 | 19,393.13 | 19,383.84 | 19,434.64 | 19,353.77 |
| TOPIX        |          | 1,597.36  | 1,595.19  | 1,596.12  | 1,600.05  | 1,592.20  |
| NYダウ工業株30種平均 |          | 21,674.51 | 21,703.75 | 21,899.89 | 21,812.09 | 21,783.40 |
| NASDAQ       |          | 6,216.53  | 6,213.13  | 6,297.48  | 6,278.41  | 6,271.33  |
| 日本10年債       |          | 0.03%     | 0.03%     | 0.04%     | 0.04%     | 0.03%     |
| 米国10年債       |          | 2.19%     | 2.18%     | 2.21%     | 2.17%     | 2.19%     |
| 原油価格(WTI)    |          | 48.66     | 47.53     | 47.83     | 48.41     | 47.43     |
| 金(NY)        |          | 1,283.95  | 1,291.88  | 1,285.14  | 1,290.95  | 1,286.29  |

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



## 2. 来週の注目材料

- ・ 米国では、29 日(火)に発表される 8 月のコンファレンス・ボード消費者信頼感指数は 120.0(7 月:121.1)と前月から低下すると予想されている。8 月ミシガン大学消費者マインド(速報)は期待指数の大幅な押し上げを背景に上昇したが、バージニア州シャーロットビルで発生した白人至上主義者と反対派の衝突事件の影響も懸念されており、9 月 1 日(金)に発表される 8 月ミシガン大学消費者マインド(確報)も 97.3 と速報(97.6)から小幅に低下する見通しである。30 日(水)の 8 月 ADP 雇用統計は前月比+18.5 万人と 7 月(同+17.8 万人)から増加ペースが加速すると見込まれている。同結果を受けて 9 月 1 日(金)の雇用統計の予想を方向付けるだろう。その 8 月雇用統計では、非農業部門雇用者数(NFP)が前月比+18.0 万人(7 月:同+20.9 万人)と予想されており、増加ペースが減速する見通しだ。関連指標を確認すると、週次の失業保険統計では、雇用統計調査週(12 日を含む週)の新規失業保険申請件数は低下した。ニューヨークおよびフィラデルフィア連銀で発表された 7 月製造業景気指数の雇用 DI は、ニューヨークが上昇する一方でフィラデルフィアは低下するなどまちまちの結果となっている。失業率に関しては 4.3%と横ばいになると見込まれている。非農業部門の週平均労働時間も 6 月の 34.5 時間から横ばいとなる見通しで、時間当たり平均賃金は前月比+0.2%と伸びが鈍化する見込みである。同日には 8 月 ISM 製造業景気指数の発表があり、各地区連銀の製造業指数はまちまちではあるものの、市場では 56.4 と 7 月の 56.3 から小幅に改善すると予想されている。
- ・ 本邦では、31 日(木)に 7 月鉱工業生産(速報)が発表される。7 月の製造工業生産予測調査は、前月比+0.8%と増産が見込まれているが、実績値は予測指数から下振れる傾向がある。経済産業省による予測指数がもつ傾向的な部分を補正した試算値は、同 ▲0.3%と減産となる見通しである。生産に関連する統計を確認すると、7 月の実質輸出は前月比+1.7%と増加したものの、企業マインド指標は前月から悪化しており、市場でも 7 月の鉱工業生産指数は前月比 ▲0.3%と予想されている。金融政策関連では、31 日(木)に政井審議委員の講演が予定されている。

|            | 本 邦                         | 海 外                                                                                                 |
|------------|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 25 日(金)    | 休場(山の日)                     | ・独 8 月 Ifo 企業景況指数<br>・独 4～6 月期 GDP(確報)<br>・米 7 月耐久財受注(速報)                                           |
| 28 日(月)    |                             |                                                                                                     |
| 29 日(火)    | ・7 月労働力調査<br>・7 月家計調査       | ・米 6 月 S&P コアロジックケース・シラー住宅価格<br>・米 8 月消費者信頼感指数                                                      |
| 30 日(水)    |                             | ・独 8 月消費者物価(速報)<br>・米 8 月 ADP 雇用統計<br>・米 4～6 月期 GDP(2 次速報)                                          |
| 31 日(木)    | ・7 月鉱工業生産(速報)<br>・7 月新設住宅着工 | ・ユーロ圏 7 月失業率<br>・ユーロ圏 8 月消費者物価指数(速報)<br>・米 7 月個人所得・支出<br>・米 8 月シカゴ購買部協会景気指数                         |
| 9 月 1 日(金) | ・8 月自動車販売台数                 | ・ユーロ圏 8 月製造業 PMI(確報)<br>・米 8 月雇用統計<br>・米 8 月 ISM 製造業景気指数<br>・米 8 月ミシガン大学消費者マインド指数(確報)<br>・米 7 月建設支出 |

## 【当面の主要行事日程(2017 年 8 月～)】

米 FOMC(9 月 19～20 日、10 月 31 日～11 月 1 日、12 月 12～13 日)  
 ECB 政策理事会(9 月 7 日、10 月 26 日、12 月 14 日)  
 日銀金融政策決定会合(9 月 20～21 日、10 月 30～31 日、12 月 20～21 日)  
 ドイツ総選挙(9 月 24 日)

国際為替部  
 チーフマーケット・エコノミスト  
 唐鎌 大輔(TEL:03-3242-7065)  
[daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp](mailto:daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

経済指標カレンダー(2017年8月)

| 月                                                                           | 火                                                                                                          | 水                                                                                                                      | 木                                                                                                                                                    | 金                                                                                                                           | 週末 |
|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|                                                                             | 1<br>日本 自動車販売台数(7月)<br>ユーロ圏 製造業PMI(確報、7月)<br>ユーロ圏 GDP(速報値、4～6月期)<br>米国 ISM製造業景気指数(7月)<br>米国 建設支出(6月)       | 2<br>日本 マネタリーベース(7月)<br>米国 ADP雇用統計(7月)                                                                                 | 3<br>ユーロ圏 サービス業PMI(確報、7月)<br>米国 ISM非製造業景気指数(7月)<br>米国 製造業新規受注(6月)<br>米国 耐久財受注(確報、6月)                                                                 | 4<br>日本 毎月勤労統計(6月)<br>ドイツ 製造業受注(6月)<br>米国 雇用統計(7月)<br>米国 失業率(7月)<br>米国 貿易収支(6月)                                             |    |
| 7<br>日本 景気動向指数(速報、6月)<br>ドイツ 鉱工業生産(6月)<br>米国 労働市場情勢指数(7月)<br>米国 消費者信用残高(6月) | 8<br>日本 国際収支(6月)<br>日本 貸出・預金動向(7月)<br>日本 景気ウォッチャー調査(7月)<br>ドイツ 貿易収支(6月)                                    | 9<br>日本 マネーストック(7月)<br>米国 卸売売上高(6月)                                                                                    | 10<br>日本 機械受注(6月)<br>日本 国内企業物価(7月)<br>日本 第三次産業活動指数(6月)<br>米国 生産者物価(7月)<br>米国 財政収支(7月)                                                                | 11<br>日本 山の日<br>ドイツ 消費者物価(確報、7月)<br>米国 消費者物価(7月)                                                                            |    |
| 14<br>日本 GDP(速報、4～6月期)<br>ユーロ圏 鉱工業生産(6月)                                    | 15<br>日本 鉱工業生産(確報、6月)<br>米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(8月)<br>米国 小売売上高(7月)<br>米国 企業在庫(6月)<br>米国 TICレポート(対外対内証券投資)(6月) | 16<br>ユーロ圏 GDP(改定値、4～6月期)<br>米国 住宅着工(7月)<br>米国 FOMC議事要旨(7月25～26日開催分)                                                   | 17<br>日本 貿易収支(7月)<br>ユーロ圏 貿易収支(6月)<br>ユーロ圏 消費者物価指数(確報、7月)<br>ユーロ圏 ECB理事会議事要旨(6月8日開催分)<br>ユーロ圏 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(8月)<br>米国 鉱工業生産(7月)<br>米国 景気先行指数(7月) | 18<br>ユーロ圏 経常収支(6月)<br>米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、8月)                                                                              |    |
| 21<br>米国 シカゴ購買部協会景気指数(7月)                                                   | 22<br>ドイツ ZEW景況指数(8月)                                                                                      | 23<br>ユーロ圏 製造業PMI(速報、8月)<br>ユーロ圏 サービス業PMI(速報、8月)<br>米国 新築住宅販売(7月)                                                      | 24<br>日本 景気動向指数(確報、6月)<br>米国 中古住宅販売(7月)                                                                                                              | 25<br>日本 全国消費者物価(7月)<br>日本 東京都都区消費者物価(8月)<br>日本 企業向けサービス価格(7月)<br>ドイツ IFO企業景況指数(8月)<br>ドイツ GDP(確報、4～6月期)<br>米国 耐久財受注(速報、7月) |    |
| 28                                                                          | 29<br>日本 失業率(7月)<br>日本 家計調査(7月)<br>米国 S&Pコアラジックケース・シラー住宅価格(6月)<br>米国 消費者信頼感指数(8月)                          | 30<br>ドイツ 消費者物価(速報、8月)<br>米国 ADP雇用統計(8月)<br>米国 GDP(2次速報、4～6月期)<br>米国 個人所得・消費(2次速報、4～6月期)<br>米国 PCEコアデフレーター(2次速報、4～6月期) | 31<br>日本 鉱工業生産(速報、7月)<br>日本 新設住宅着工(7月)<br>ユーロ圏 失業率(7月)<br>ユーロ圏 消費者物価指数(速報、8月)                                                                        |                                                                                                                             |    |

[注]\*を付したものは公表予定が未定であることを示す。  
[資料]ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー(2017年9月)

| 月                                                                  | 火                                                                                                       | 水                                                                                     | 木                                                                                                    | 金                                                                                                                                                            | 週末                              |
|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
|                                                                    |                                                                                                         |                                                                                       |                                                                                                      | 1<br>日本 自動車販売台数(8月)<br>ユーロ圏 製造業PMI(確報、8月)<br>米国 雇用統計(8月)<br>米国 失業率(8月)<br>米国 ISM製造業景気指数(8月)<br>米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、8月)<br>米国 建設支出(7月)                        |                                 |
| 4<br>日本 マネタリーベース(8月)                                               | 5<br>ユーロ圏 サービス業PMI(確報、8月)<br>ユーロ圏 GDP(確報、4～6月期)<br>米国 労働市場情勢指数(8月)<br>米国 製造業新規受注(7月)<br>米国 耐久財受注(確報、7月) | 6<br>日本 毎月勤労統計(7月)<br>ドイツ 製造業受注(7月)<br>米国 貿易収支(7月)<br>米国 ISM非製造業景気指数(8月)<br>米国 ページブック | 7<br>日本 景気動向指数(速報、7月)<br>ドイツ 鉱工業生産(7月)<br>ユーロ圏 ECB理事会(フランクフルト)                                       | 8<br>日本 国際収支(7月)<br>日本 GDP(確報、4～6月期)<br>日本 貸出・預金動向(8月)<br>日本 景気ウォッチャー調査(8月)<br>ドイツ 貿易収支(7月)<br>米国 卸売売上高(7月)<br>米国 消費者信用残高(7月)                                |                                 |
| 11<br>日本 機械受注(7月)<br>日本 マネーストック(8月)<br>日本 第三次産業活動指数(7月)            | 12<br>日本 国内企業物価(8月)                                                                                     | 13<br>ドイツ 消費者物価(確報、8月)<br>ユーロ圏 鉱工業生産(7月)<br>米国 生産者物価(8月)<br>米国 財政収支(8月)               | 14<br>日本 鉱工業生産(確報、7月)<br>米国 消費者物価(8月)                                                                | 15<br>ユーロ圏 貿易収支(7月)<br>米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(9月)<br>米国 小売売上高(8月)<br>米国 鉱工業生産(8月)<br>米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、9月)<br>米国 企業在庫(7月)                                      |                                 |
| 18<br>日本 敬老の日<br>ユーロ圏 消費者物価指数(確報、8月)<br>米国 TICレポート(対外対内証券投資)(7月)   | 19<br>ユーロ圏 経常収支(7月)<br>ドイツ ZEW景況指数(9月)<br>米国 住宅着工(8月)<br>米国 FOMC(～20日)                                  | 20<br>日本 貿易収支(8月)<br>日本 日銀金融政策決定会合(～21日)<br>米国 中古住宅販売(8月)                             | 21<br>米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(9月)<br>米国 景気先行指数(8月)                                                      | 22<br>ユーロ圏 製造業PMI(速報、9月)<br>ユーロ圏 サービス業PMI(速報、9月)                                                                                                             | 24<br>フランス 上院議会選挙<br>ドイツ 連邦議会選挙 |
| 25<br>日本 景気動向指数(確報、7月)<br>ドイツ IFO企業景況指数(9月)<br>米国 シカゴ購買部協会景気指数(8月) | 26<br>日本 企業向けサービス価格(8月)<br>米国 S&Pコアロジックケース・シラー住宅価格(7月)<br>米国 新築住宅販売(8月)<br>米国 消費者信頼感指数(9月)              | 27<br>米国 耐久財受注(速報、8月)                                                                 | 28<br>ドイツ 消費者物価(速報、9月)<br>米国 GDP(3次速報、4～6月期)<br>米国 個人所得・消費(3次速報、4～6月期)<br>米国 PCEコアデフレーター(3次速報、4～6月期) | 29<br>日本 失業率(8月)<br>日本 家計調査(8月)<br>日本 全国消費者物価(8月)<br>日本 東京都区部消費者物価(9月)<br>日本 鉱工業生産(速報、8月)<br>日本 新設住宅着工(8月)<br>ユーロ圏 消費者物価指数(速報、9月)<br>米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、9月) |                                 |

(注)\*を付したものは公表予定が未定であることを示す。  
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です  
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) [http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ\\_backnumber.html](http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html)

| 発行年月日      | 過去6か月のタイトル                                  |
|------------|---------------------------------------------|
| 2017年8月23日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年7月分)                 |
| 2017年8月18日 | 週末版(ECB政策理事会議事要旨(7月20日開催分)～強まる為替への問題意識～)    |
| 2017年8月17日 | FOMC議事要旨を受けて～疑われるフィリップス曲線～                  |
| 2017年8月16日 | 17年上半期の対米証券投資～下半期に向けてのまどろこ～                 |
| 2017年8月15日 | 米インフレ期待の現状について～NY連銀消費者調査～                   |
| 2017年8月14日 | VIX急騰で断たれるキャリー取引の芽と不安な米株調整                  |
| 2017年8月10日 | 週末版                                         |
| 2017年8月9日  | 2017年上半期の円の基礎的需給環境などについて                    |
| 2017年8月8日  | 技術的難しさが極まるECBの量的緩和の現状                       |
| 2017年8月7日  | 米7月雇用統計～加速しない賃金と伸び悩む「賃」～                    |
| 2017年8月4日  | 週末版(ユーロ圏のフィリップス曲線の現状～フラット化して下方シフト～)         |
| 2017年8月3日  | フォワードルッキングという幻想②～OECD景気先行指数を通じて～            |
| 2017年8月2日  | フォワードルッキングという幻想～日銀議事要旨が示唆する戒め～              |
| 2017年8月1日  | 実効相場で考えるドル相場の現状～調整は始まったばかり～                 |
| 2017年7月28日 | 週末版(メインシナリオへのリスク点検～新しいリスクは「安倍退陣」と「正常化ブーム」～) |
| 2017年7月27日 | FOMCを終えて～後任人事を見据えてハト派化も？～                   |
| 2017年7月26日 | ECB政策理事会の読み方～シントラ発言の火は消せず～                  |
| 2017年7月25日 | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年6月分)                 |
| 2017年7月21日 | 週末版(日銀金融政策決定会合を受けて～次の論点は外交的視点～)             |
| 2017年7月20日 | 最近のユーロ相場について～投機筋、PPP、金利差～                   |
| 2017年7月19日 | ECB政策理事会プレビュー～「火に油」を避けるべく…～                 |
| 2017年7月14日 | 週末版(ドル/円相場の水準感について～現状の「異常さ」を見つめ直す～)         |
| 2017年7月13日 | イエレン議会証言を受けて～花道の正常化は続く模様～                   |
| 2017年7月12日 | EU回帰でドイツは変わるのか？                             |
| 2017年7月11日 | 正常化ブームの中で考えたい各国中銀の立ち位置                      |
| 2017年7月10日 | 円相場の基礎的需給環境～円キャリーの兆候はあるか？～                  |
| 2017年7月7日  | 週末版(ECB政策理事会議事要旨～ドラギ総裁はしじった模様～)             |
| 2017年7月6日  | FOMC議事要旨～正常化は資産バブル対応？～                      |
| 2017年7月5日  | ECB版テーバー・タントラムの現状と展望                        |
| 2017年7月4日  | ドル安・円安の読み方～「正常化」ブームは流れを変えるのか～               |
| 2017年7月3日  | 都議選の影響を考える～新しいリスクの浮上～                       |
| 2017年6月30日 | 週末版                                         |
| 2017年6月28日 | ドラギ講演を受けて～「一時的」が流行る風潮の危うさ～                  |
| 2017年6月27日 | メインシナリオのリスク点検～引き続き目立つ円高材料～                  |
|            | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年5月分)                 |
| 2017年6月26日 | プラトECB理事発言を考える～影響力は侮れず～                     |
| 2017年6月23日 | 週末版                                         |
| 2017年6月22日 | 対内・対外証券投資の近況～リセットされたトラブトレード～                |
| 2017年6月21日 | カシュカリ・エッセイから学ぶこと～信仰(faith)とデータ(data)～       |
| 2017年6月19日 | 日銀金融政策決定会合～「座して円高を待つ」状況へ～                   |
| 2017年6月16日 | 週末版                                         |
| 2017年6月15日 | FOMCを終えて～「笛吹けど踊らず」の状況強まる～                   |
| 2017年6月14日 | ユーロ相場の本格反転に必要なもの                            |
| 2017年6月13日 | 盛り上がらない米国のインフレ期待や与信環境について                   |
| 2017年6月12日 | ECB政策理事会～「露払い」としてのFG文言修正～                   |
| 2017年6月9日  | 週末版(英総選挙を受けて～「不要なギャンブル」の成れの果て～)             |
| 2017年6月8日  | 英下院総選挙について～直前の論点整理～                         |
| 2017年6月7日  | 110円割れて思うこと～変わり始めた欧米の論調～                    |
| 2017年6月5日  | 日銀総資産500兆円突破を受けて～杞憂の出口議論～                   |
| 2017年6月2日  | 週末版(ECB政策理事会プレビュー～出口戦略の順序に変更なし～)            |
| 2017年6月1日  | 2016年末対外資産・負債残高統計～リスク回避の源泉～                 |
| 2017年5月29日 | メインシナリオのリスク点検～目立つ円高リスク～                     |
| 2017年5月26日 | 週末版(本邦4月消費者物価指数(CPI)を受けて～依然、埋まらない日米物価格差～)   |
| 2017年5月25日 | FOMC議事要旨を受けて～株価は耐えられるのか？～                   |
| 2017年5月24日 | 相次いで弱体化するFRB高官～動揺する唯一の支え～                   |
|            | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年4月分)                 |
| 2017年5月23日 | メルケル首相発言を受けて～異形のドイツがすべきこと～                  |
| 2017年5月22日 | ドル相場の現状認識～4月分REERの公表を受けて～                   |
| 2017年5月19日 | 週末版                                         |
| 2017年5月17日 | ドルインデックスの急落を受けて                             |
| 2017年5月16日 | ユーロ相場の現状について～投機買い持ちでも上がらず～                  |
| 2017年5月15日 | イタリアG7を終えて～「量」が「価格」か「説得」か～                  |
| 2017年5月12日 | 週末版(欧州委員会春季経済予測を受けて～今後心配な「スラックの格差」～)        |
| 2017年5月11日 | 円相場の基礎的需給環境～様変わりする景色～                       |
| 2017年5月10日 | 米インフレ期待低迷が映す米経済への過信                         |
| 2017年5月9日  | 米商務省声明が予感させる「理不尽な円高」                        |
| 2017年5月8日  | フランス大統領選挙を受けて～おさらいすべきフランスの現状～               |
| 2017年4月28日 | 週末版(ECB理事会を終えて～「次の一手」は引き締めが濃厚～)             |
| 2017年4月27日 | ECB理事会プレビュー②～フォワードガイダンス撤廃報道について～            |
|            | 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年3月分)                 |
| 2017年4月25日 | メインシナリオのリスク点検～燃る「第二次ブラザ合意」疑惑～               |
| 2017年4月24日 | フランス大統領選挙第1回投票～終わらない政治リスク～                  |
| 2017年4月21日 | 週末版(ECB理事会プレビュー～争点はフォワードガイダンスの取り扱い～)        |
| 2017年4月20日 | 米金利低下と円高相場～投資家は「外」から「内」へ～                   |
| 2017年4月19日 | 英総選挙の前倒し実施～「絶対に負けれない戦い」へ～                   |
| 2017年4月17日 | 米為替政策報告書の読み方                                |
| 2017年4月14日 | 週末版(依然として懸念されるユーロ圏の域内格差～顕著になる「地力の差」～)       |
| 2017年4月13日 | 改めて考えるポリシーミックスの在り方                          |
| 2017年4月12日 | 試される「リスク回避の円買い」の妥当性                         |
| 2017年4月11日 | 円相場の基礎的需給環境～ベシススワップと対外証券投資～                 |
| 2017年4月7日  | 週末版(ECB理事会議事要旨～鍵を握るAPPの延長可否～)               |
| 2017年4月6日  | FOMC議事要旨を受けて～「B/S縮小≠ドル高」とは限らず～              |
| 2017年4月5日  | 真つ当な米利上げ反対論～ブレインードからカシュカリへ～                 |
| 2017年4月4日  | 外貨準備構成通貨の現状(2016年12月末時点)                    |
| 2017年4月3日  | 2つの大統領令を受けて～内政の苛立ちを外交で発散へ～                  |
| 2017年3月31日 | 週末版                                         |
| 2017年3月30日 | ユーロ圏の物価に関する現状と展望～ECBへの影響～                   |
| 2017年3月28日 | メインシナリオのリスク点検～要警戒の4月中旬～                     |
| 2017年3月24日 | 週末版(英EU離脱の正式通告について～当面の展望や為替見通し～)            |
| 2017年3月22日 | ドル/円相場の水準感について～112円割れを受けて～                  |
| 2017年3月21日 | バーデンバーデンG20を受けて～前哨戦は米国に軍配～                  |